

=私たちの活動 4つの柱=  
 \*制度化と指導員の身分保障  
 \*専門性と仕事の確立  
 \*父母と共に学童保育運動の発展  
 \*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

## ニュース学童保育

2016. 7. 20.

NO. 2

全日本建設交運一般労働組合  
 全国学童保育部会 発行  
 編集：事務局

# 全国指導員学校

## 各地域で、建交労が実践報告

5、6月に、全国各地域で全国指導員学校が開催されています。連絡協議会との共同した取り組みを進め、指導員学校の成功に、建交労の組合員も奮闘しています。

今回は、群馬支部と函館分会から報告をいただきました。

### 北関東会場

群馬・  
一之瀬さん

「高学年を含めた生活づくり」の分科会では高学年との関係について様々な事例を出し合いながら意見交換をしました。

児童福祉法の改正で、今年度から高学年を受け入れた学童クラブや、指導員になりたてで、高学年から蔑まれてしまうなど、まだ関係が作れないで悩んでいる方のお話も聞くことができました。

その中で、子どもたち



ちが出す感情がすべてとは思わずにその内面を探り、“高学年なのだから”と期待感を背負わせることなく個々の尊重を大切にすることでお互いが必要と感じられるような関係を作っていくよう、学童保育での生活を大切に、日々を積み重ねて行こうということを確認してきました。

(一ノ瀬香緒理)

### 北海道会場

函館・  
渡辺さん

去る6月18日(土)・19日(日)、札幌市で全国指導員学校北海道会場が開催されました。私は「高学年を含めた学童保育の生活づくり」の講師の依頼を受け持つこととなりました。

条例による

高学年の受け入れが始まった学童も、来年には6年生になる子ども達。私は以前の建交労の研究会で「自治能力」について学んだ事を思い出し、9歳から12才までの発達の特徴をまとめ

## 建交労全国学童保育部会総会

9月17(土)午後1時～  
18日(日)

建交労中央本部にて

申し込みは、9月5日(月)部会事務局まで  
 電話 052-353-8402  
 ファックス 052-362-5841

総会では、処遇改善事業をどう獲得するか。

指導員の賃金・労働条件の引き上げと組織拡大を結合した取り組みについて、重点的に討論します。



した。



実践を上げながらお話しさせていただきました。私の経験年数はやっと10年となりましたが、自分の経験年数を越えるベテランの方々が沢山おり、とても緊張しましたが…。

こういう場はとても勉強になるし、振り返りも出来たので今では引き受けてこも良かったと思います。機会があればお若い皆さまも是非受けてみてください！

(渡辺 将隆)